

「Web 協働学習」「個別最適化学習」「オンライン学習」の実践 【豊橋市立嵩山小学校、豊橋市立羽田中学校】

豊橋市では、とよはし版GIGAスクール構想として、「Web 協働学習」「個別最適化学習」「オンライン学習」を柱にした新たな学習形態による多様な学習活動の充実をすすめている。それに先立ち、モデル実践を行っている豊橋市立嵩山小学校と豊橋市立羽田中学校の取組を報告する。

〈電子掲示板を用いた Web 協働学習〉

- 「コラボノート」では、自分の意見を書き込んでいる間にも、他の人の意見がどんどん貼られていく。そのため、従来の授業での発言・発表の時間が短縮され、すぐに話し合いに移ることができた。

〈電子ドリルを用いた個別最適化学習〉

- 「ミライシード」は、自分のペースで進めることができるため、子どもたちは集中して取り組んでいた。また、自動で採点されるため、すぐに結果がわかり、学習意欲を持続させることができた。
- 教師用ページを見て、データをもとに学習の進め方について教師がアドバイスをすることができ、個別の支援を充実させることができた。

〈動画配信を用いたオンライン学習〉

- 「スタディサプリ」は、ビデオでの講義とテキストが提供されている。子どもたちは、興味をもってビデオを視聴していた。ビデオを止めてみたり、わかりにくいところを繰り返し視聴したりする姿もみられた。
- 反転学習として、家庭で動画を視聴させた後、対面授業に臨んだ。学習内容を大筋で把握してからの授業であったので、効率的に授業をすすめることができた。



【電子ドリル「ミライシード」で、書き順の練習をしている。教師用ページで「回答時間」「問題数」「正答率」などをモニターすることができ、個別指導に生かすことができた】
(豊橋市立嵩山小学校)



【動画配信「スタディサプリ」で、中学校3年英語の授業動画を見ている。子どもたちは、聞き取れなかった部分を繰り返し視聴し、理解を深めた】
(豊橋市立羽田中学校)

〈アカウントの支援を受けた事業者〉

- ・ミライシード……株式会社ベネッセコーポレーション
- ・スタディサプリ……株式会社リクルートマーケティングパートナーズ